

## ミュンヘン滞在を終えて

大学院理学系研究科 化学専攻 塩谷研究室

博士課程 2年 西山康太郎

10月5日から11月27日までの約2ヶ月間、ドイツのミュンヘンに滞在した。海外派遣中は、核酸化学分野で最先端の研究成果を上げている、Ludwig-Maximilians-Universität München の Carell 教授のグループに加わり、新規人工 DNA の創出を目指した。博士課程学生の Sascha と Sebastian の二人に指導してもらい、今まで経験のない有機合成反応から、普段行えない生化学的な実験まで行うことができた。

また、ドイツ国内の伝統ある街並みや観光名所はもちろん、セミナー旅行で訪ねたイタリアのヴェネチアや、日帰りで旅したオーストリアのザルツブルクなど、ヨーロッパの国々を周り、現地でしか味わえない人々や景色、食の文化に触れることができた。

今回、このような貴重な機会を与え、サポートしてくださった ALPS 関係者の皆様、Carell グループの皆様、塩谷研究室の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。